

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	公園に散歩に行くことによって、近所の人との会話が出来るよう心がけ、近所の人にもホームの方に遊びに来ていただけるよう、声かけもしている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月に一度のカンファレンスにより、反省するべきところ、良くなったところ等話し合い、一丸となって取り組んでいる。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	民生委員の方に協力してもらっている。地域の中での行事に関しては、利用者の方は参加できなくても管理者又はスタッフが必ず参加するようにしている。	○ 19年度は町内会長、副会長さんの協力が得られなかったため、20年度の方たちとのコミュニケーションの取り方を考えたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	町内の行事には必ず参加している。立ち寄ってもらったり、昼食を一緒にしていただく用意もあり声かけもしている。	○
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	いつでも参加できる用意はある。行事等にも参加している。	

岐阜県. グループホーム ひなたぼっこ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>今後このまま取り組んでいきたい。19年度の町内会長、副会長の協力が得られなく、市の方に相談し市の方からも話をさせていただいたが全く協力されるつもりもなく、今年度の人に期待もしている。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>今後は外部評価の調査報告書を皆がいつでも見やすい場所に置き、読んでいただくようにしながら管理者もこのことで皆さんと話し合うよう心がける。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>次回会議は、自己評価、外部評価を中心に会議を行い意見を聞き今後役に立てて行きたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>スタッフの間においても注意を払い身体的な面はもちろん、言葉においては虐待に近い言葉を耳にしたときは耳にした人が注意し管理者にも報告する。また注意できない人は管理者にすぐに相談する。</p>

岐阜県 グループホーム ひなたぼっこ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に基づいて重要事項説明書を読み上げページづつ理解を得られたか聞きながら説明を行っている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営者(管理者)が時々聞いてみたり入浴の時等是一对一なので特に話しやすい機会でもあるので入浴中の話に工夫をしながら又、面会の時は御家族と利用者さんだけの時間をもってもらい話しやすくしている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的には行っていないが面会時又は面会がない場合は、電話にて月に1～2度報告はしている。	○ 現在考えていることは月に一度利用者さんの写真を添えて文書にて近況報告をすること。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケートを作成し行ったことがあるが、思わしくなかった為、直接、管理者が聞いたり又、直接言いにくいことは、電話していただくようにしている。それでも言いにくい事は市に行って頂くようにすすめている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	その時々と言っていただくことと、又は、毎月のカンファレンスの時に提案してもらい皆さんで考えてもらって、良いことは取り入れている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	希望休み外の職員は何時でも確保できるよう、職員自身心がけている。現在の職員では必ず確保できる。希望休みは必ずシフトを組む前に聞き、取り入れる。	

岐阜県 グループホーム ひなたぼっこ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者と管理者は同じ人物であり、職員も利用者一人一人に対して同じ気持ちで接するように心がけているで、現在のところはダメージはほとんどないと思っている。	○	今後も職員は、利用者個人に対して特別な接し方をせず、職員一人一人の個性で利用者さんに同じように接してもらおう。離職に関しては、職員も高齢のためこの件もふくめ今後の課題としたい。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等に行ってもらった時は出勤と同様の扱い等にして、負担を少なくし、その人に合うことと本人が受けたいことは行ってもらい、無理にでも受けた方がいいこともあり受けさせてます。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者の会議の参加(職員も一人一緒)するようにしている。電話で相談するようにしている。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	気が合わないスタッフ同士はシフトを組まない。個々に声かけしながら話を聞くようにしている。何時でもスタッフから話をしてもらえるよう心がけている。	○	現在の所スタッフからの話も聞くことができていると思うが、他にいい考えがあればそれも取り組みたいと思う。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の個性を活かしながらシフトを組み働きやすいようにしている。	○	考えたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前の面談を大切にしている。本人との面談だけではなかなかその人を知ることができず困っている。	○	急な入所が多い為、なかなか取り組めていないが、時間があれば2度以上の面談をおこなっていききたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の方とは2度3度と面談を行い、特に入所前に世話をされていた方の話を聞くよう努めている。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	主治医の先生と相談をおこない体調に応じての日課を考えるようにしている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	今まで使用していた馴染みのある身の回りの物などを使用させていただき、今までの生活環境に大きな変化がないようにしている。アルバムなどももってきていただき、一緒にそれを見ながら会話をし馴染んでいただく。	○	入所前の利用者の方の趣味や特技、食べ物の好み、生活習慣などを聞きできるかぎり変化のないようにしている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	なかなか会話を成り立たせるのは大変だが、「昔は、何々でしたか?」と聞くと「そうやったね」と話してくれる事もあるため、昔の話を大切にしている。	○	折り紙をおったりは、なかなか利用者の方は出来ない人が多いが、スタッフが折り紙で形を作りわたすと「綺麗だね」などと笑顔をみる事ができる為、何も出来ない人でも目で楽しんでいただいている。

岐阜県. グループホーム ひなたぼっこ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	できる限りの面会、利用者以外家族の方の相談に、面会時又は電話にて受け、考えていくようにしている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入所させたらさせたままで、一ヶ月、二ヶ月面会がないため、電話をかけたたり行事があるからと声かけをしているが、なかなかうまくいかない。	○	いろいろな行事、誕生会の時など今までは口頭や電話を利用することが多かったので、パンフレットや文書にて始めてみている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所される前の友人の方の訪問や電話もあったりして、うまくいっていると思う。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎日ほとんどの時間を食堂のテーブルで過ごされることが多いのでいろいろなことがあるが、スタッフも関わりながら行っている。	○	現在は利用者の身体的問題も多くかかえているため、今後も考えていきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	近所に来たからと言って立ち寄ってくださることもある。又、他の利用者の方を紹介して下さったり、こちらからは時々近況を電話でうかがうことをしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりとの会話を大切にしながら気持ちを感じ取れるよう心がけ又はその目の行動、態度を見ながら利用者が何をのぞみ、考えているかスタッフは気配りしている。なかなかむずかしい。	○	いろいろ聞いてあげたいが、身体的な問題にて現在の利用者の方には、困難である。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の面談の上で家族や今までお世話していた方、利用者の方に話を聞き、いままでの生活環境に大きな変化がないよう心がけている。たとえば今まで使用されていた食器等々。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	スタッフの声かけに対し利用者の反応、食後の体温、バイタルチェックにて把握するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	月に一度の介護者、ケアマネも参加し会議を開き、又、主治医、看護師の意見を聞き介護計画は作成している。	○	作成後は家族の方に見ていただき、良かったらサイン、印をもらうよう始めている。この時家族の希望、意見を聞くこともしている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	三ヶ月に一度、ケア計画の見直しを行い、ただし利用者の状態に応じてその時その場所で見直す用意もできているし、行なっている。		

岐阜県. グループホーム ひなたぼっこ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月に一度の会議を開き介護者全員で利用者全員の介護方法を考えている。	○	ケア計画どおりには、なかなかいかないが、今後もひきつづきひとつひとつ実践にうつしていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の体調にあわせ、主治医の先生、介護者との話し合いをおこない支援していける範囲でつとめている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員の方とは月一度会える為、コミュニケーションをとっている。又半年に一度中学生の子がボランティアにくる。	○	二ヶ月に一度運営推進会議を開く為、たくさんの人に声をかけさせていただくが、なかなか人が集まらないため、たくさんの方が、来ていただけるようにしていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入所される以前関わってみえたケアマネジャーの方との交流はあるが、他は特に関わっていない。	○	今後、考えていきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括支援センターの方は、運営推進会議に出席された時は、相談もするが協働までには行ってない。	○	今後、考えていきたい。

岐阜県. グループホーム ひなたぼっこ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

岐阜県 グループホーム ひなたぼっこ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	今まで利用されていた方の中で、別のホーム又自宅に帰られる方が見えなかったため、考えたことがなかった。今後そのようなことも含め考えていきたい。	○	今後もその場面に、いつでくわしてもいいようにこれから考えていく。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	オムツを使用している方など、オムツという言葉は使用せず「ちょっと部屋で身だしなみを整えてきましょう」などと声掛けの工夫をしている。又ケース記録など個人情報は関係者以外は見られないようにし、ロッカーなどにしまっている。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	何をすることも必ず声掛けはおこなうようにしているが、何度も声掛けをおこなっても返事がかえってこなかったり、無表情の場合は、やむおえず行動にうつしてしまう。例えば、お風呂やトイレ介助など	○	会話をできる利用者の方は、会話をしながら服を選んでもらったりなどしているが、意思疎通がうまくいかない利用者の方などはスタッフが決めてしまったり、トイレや入浴など時間で動いてしまう為、うなずきでもいいので、できるだけ取り組んでいます。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の身体的状態にあわせ生活するようにしている。散歩に行きたい方などは職員と散歩や喫茶店、居室に横になりたい方等自由		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ホームに近い美容院に行き髪を切って見える方、身体的問題で外出できない方はホームで職員が希望を聞きながら切ったり、利用者の家族の中に美容院のお仕事をされている方がみえ、声を掛けてくださる時がある為、お願いしてみたりと工夫している。又1日2回3回服を着替える方もみえる。	○	なかなか会話にならない利用者の方に対して、家族の方にどんな髪型が好きなのか、のばしたいのか、短めがいいのかなど聞き、取り入れている。

岐阜県 グループホーム ひなたぼっこ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>「今日の食事は何でしょうね」など会話をし食事がでてくるのを楽しみにしていただけるよう心がけている。メニューをかいた板などを使用、利用者作成してもらえよう考えているがなかなか難しい。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>身体的問題でまわりの方と同じ量を摂取できない方は飲みのお茶にしたり器を工夫したりし配慮している。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>意思疎通の出来ない方に対しては、身体的問題がなければ職員の都合で入れてしまうが、入浴後の表情はうれしそうにされている為、入浴前にもうれい表情を見られるようにしていきたい。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>意思疎通の難しい方には、花をみてもらったり、他の利用者がぬったぬり絵などをみて、楽しんでもらっているが、なかなか喜怒哀楽が激しいため難しい。少しでも楽しんでいただけるよう努めている。</p>

岐阜県 グループホーム ひなたぼっこ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	○	<p>今後は近くにコンビニができたので、買い物等にもさそうよう心がける。</p>
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		<p>お正月など日帰りで帰る方もみえたが、なかなか家族の方と出かけるのは難しく、利用者と職員との交流になってしまっている為今後も考えていきたい。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		

岐阜県. グループホーム ひなたぼっこ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

岐阜県 グループホーム ひなたぼっこ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> <p>家族とスタッフだけの話し合いではなく、主治医、看護師の意見も取り入れながら行っている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>毎日2度のバイタルチェック、体温、指先（手足）のチェックにも心がけ医療機関の方も対応できるようにになっている。</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>薬局からの丁寧な説明もあり、説明書もスタッフ全員目を通し、変化があれば主治医の指示をもらうことになっている。</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>利用者の方の排便に関しては、ケース記録を見ながらスタッフ全員把握しており、食事は他の利用者の方と一緒に、午前のお茶の時間、3時のおやつの時で工夫している。</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>利用者に応じて毎食後の人、朝夕の人、ガーゼでの舌のケアを市販の物で行っている。</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>利用者の体型、病名に応じて考え、体調の変化があれば主治医との相談によりうまく行っている。</p>		

岐阜県. グループホーム ひなたぼっこ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	外出後の手洗いうがいは勿論、個別にタオルを持つこと、手袋、マスク、消毒用のノロアウトの用意あり、使用している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器を洗う際、一度目は洗剤で洗い、再度ノロアウトを使用し、二度洗いを行っている。布巾は一度使用したら消毒液につけ置きし、食材についてはあまり買い置きをしないよう心がけている。検食（三週間）有り		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	看板は手作りでその下にも植物等を植え、玄関には季節の花をかざり、一般家庭の雰囲気を出すよう心がけ、皆さんが普通の家を訪ねる気持になるように。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に沿った花を玄関にはかざり、暦、ホームでのイベントに合わせかざりつけを行っている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにて過ごしたり、ソファ、畳の上で個人の好きなことをして過ごすことができる。又アルバム等もいつでも見ることができるようになっている。		

岐阜県. グループホーム ひなたぼっこ

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 グループホーム ひなたぼっこ

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

定員6人中5人がオムツを使用しているため、オムツからリハビリパンツへ変えるよう力を入れている。何処にでもある家庭の雰囲気生活で生活がされている。ホームの外回りの環境にも恵まれており、ホーム内も自分の家と思わせるよう心がけているため、利用者にとってはとても良いことだと思っている。